

**スーパー中枢港湾候補の目論見の評価結果
及び育成プログラム作成の指針の概要**

応募港湾	評価結果(案)	指針の要点(案)
東京港 横浜港 神戸・大阪港	大規模なコンテナ取り扱いマーケットに立脚したスーパー中枢港湾育成の可能性を有する。	湾域を一単位とした港湾行政の広域連携の下に、「マーケット立地型スーパー中枢港湾」の育成プログラムを作成する。
名古屋港	わが国輸出産業の集積地に直結するゲートウェイとしてのスーパー中枢港湾育成の意義を生じる可能性を有する。	わが国輸出産業の集積地に直結するゲートウェイとしての戦略性を追求する「チャレンジャー型スーパー中枢港湾」としての育成プログラムを作成する。
北九州港 博多港	地理的ポテンシャルを生かしつつ急増するアジアのコンテナ輸送マーケットをターゲットとした先導的な国際・国内中継港湾の実現の可能性を有する。	コンテナ中継港湾としての戦略性を追求する「チャレンジャー型スーパー中枢港湾」としての育成プログラムを作成する。
川崎港 四日市港	「スーパー中枢港湾」としての育成の意義・可能性に乏しい。	広域港湾連携の中で湾域のコンテナ機能の分担、補完の形でスーパー中枢港湾への貢献を検討する。